

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ綱島園	種別：認可保育所
代表者氏名：山本 加代子	定員(利用人数)：120(115名) 名
所在地：〒223-0052 神奈川県横浜市港北区綱島東4-11-38	
TEL：045-545-1717	
ホームページ：https://www.gkids.co.jp/facilities/nursery_039.html	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2013年4月1日	
経営法人・設置主体(法人名等)：株式会社 グローバルキッズ	
職員数	常勤職員： 24名 非常勤職員：7名
専門職員	(専門職の名称) 名
	保育士：常勤21名/非常勤2名 看護師：常勤1名
	栄養士：常勤2名 調理師：非常勤1名
施設・設備の概要	(居室数) 保育室：7
	(設備等) トイレ：園児用3、多目的トイレ：1、調理室：1、事務室：1 休憩室：1、園庭：有

③理念・基本方針

企業理念：子ども達の未来のために

保育理念：豊かに「生きる力」を育てる

保育目標：思いやりのある子ども
自分で考える子ども
元気でたくましい子ども
明るくのびのびした子ども

保育方針：

①子どもを中心に捉え、家庭や地域との信頼関係を築き、環境を通して、人や物との関わりを大切にする

②子どもの安心と安全を基本として、自ら伸びる力を大切にし、成長と個性に応じた多様性のある保育をする

③子どもの目線で、豊かな愛情をもって、一人ひとりの気持ちをしっかり受け止め、その主体的な活動を育む

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・残食を利用して土作りを行うなど、SDGsの取り組みを進めており、子どもたちが、実際に土に触れ、野菜や花の水やりなどの食育・食農の活動を通して、喜びや達成感、周囲の人への感謝の気持ちが育まれるようにしています。
- ・日常的な散歩などの戸外活動のほか、幼児クラスの体操教室を実施するなど、子どもの健康増進に向けた取り組みを行っています。
- ・異年齢で一緒に行う活動を多く取り入れ、大きい子が小さい子を思いやる気持ちや小さい子が大きい子にあこがれを抱く気持ちなどを育みながら成長しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年6月11日（契約日）～ 令和4年4月8日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2018年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)子どもたちの体幹を鍛え健康維持に努めています

近年の子どもの育ちで、あまり歩くことをしないため体幹が鍛えられておらず、疲れやすい、転んだ時に体を支えられないなどの姿が見られています。園は園庭が広く思い切り遊ぶことができますが、就学時に椅子に座ってられる筋肉を育てる事も含め、外部から講師を招いて年齢ごとに体操教室を実施しています。体幹を育てる事でバランス感覚を強化し、瞬発力、柔軟性を高め、身体能力を高めています。園では、運動を通じて、子どもたちが、自分でできたという喜びや、自己肯定感を持ち、心も体も成長につながるように努めています。

2)大型園の良さが子どもの成長を促しています

園は定員120名の大型園です。異年齢での子ども同士の関りでは、園庭で遊んでいる時に年下の友だちがいる時は、相手が怪我をしないように、気を付けることや思いやりの気持ちを育てています。また集団でのルールや約束事などを守ることも日々の保育のなかで身に付いています。大型園のため、職員の数も多く、子どもにとっては担任以外の職員も多くいる事から、自分の担任以外の職員とのコミュニケーションもあり、必要以上に担任に固執せず、誰に相談すればよいか、自分で考え、決める力が育まれています。

3)子どもたちの安全を確保するための取組

園では、法人で集計している系列園全園の事故やけがの事例や改善策について、職員会議で共有し、園での対応策に活かしています。事故や怪我を未然に防ぐため、園内の各場所や設備、園庭の遊具などの安全点検を定期的実施しており、修繕が必要な箇所な

どを発見した際は、法人に連絡し、迅速な対応を行うなど、子どもたちが安心して園活動を行えるよう取り組んでいます。

◇改善を求められる点

1) 取り組むべき課題の整理と実現に向けた計画の策定

職員は、指導計画に対する振り返りを行いながら、子どもへの対応方法や環境設定について話し合うなどして、保育の質の向上を目指して取り組んでいます。その一方で、園内研修の充実、外部研修から得た情報の共有、地域支援、地域交流の取組の実施などを課題として捉えています。今後は、園全体で取り組むべきことを整理して、園内研修計画や地域支援計画などを策定し、実践につなげることが期待されます。

2) 各種マニュアルや資料などの再整備と職員への周知

法人では、法人の目指す保育を実践するために、各種マニュアルや資料を整備し、マニュアルに基づいた法人研修を計画的に実施しています。今後は、園の健全な運営に必要な業務を円滑に遂行するために、各種マニュアルや研修に関わる資料、記録などを再整備したうえで、効果的に活用できるよう、職員全体に周知を図る取り組みを行うことが期待されます。

3) 保護者の意見・意向確認への更なる取組

園では、保護者に挨拶を行うことを心がけ、保護者の相談や意見に対して、丁寧に対応するようにしています。相談や意見の受付対応手順などは、苦情解決規程に沿って適切に行っており、検討に時間が必要な際は、状況を速やかに説明して保護者の理解を得ています。規程については、各園の実態に応じて、法人の担当部署で定期的に見直しを実施しています。今後は、意見箱の設置やアンケートの定期的な実施など、保護者の意見を積極的に把握するための更なる取組が期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

コロナと言う未知のウィルスの出現に、世界も社会も困惑し、子どもたちを取り巻く環境も大きく変わりました。園行事の中止や縮小、大人は例年通りに行かない現実にも苦慮しているその中で、子どもたちはいち早く適応して楽しんでいました。子どもたちの「生きる力」の一遍を見た気がします。子どもたちを取り巻く社会・世界情勢から何を学び行動するのか「子どもたちの未来のために」に繋がるために、これからの保育園の役割や機能、保護者の方・地域の方と協力して努めていきたいと思えます。

今回の第三者評価受審は、コロナを理由に出来なかったことを話しましたが、受審後は行事が出来なかったことではなく、子どもたちにどれだけ寄り添うことが出来たのかが大切だと思えました。評価の高い点については、これからも継続していきたいと思えます。改善を求められた点は真摯に受け止め、職員と話し合いを重ねて良い施設を目指して努力していきます。

改めて保育園の取り組みについて見直す良い機会になりました。株式会社フィールズ様保護者の皆様に感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり